



ファームウェア、システム、セキュリティの更新

ONTAP 9

NetApp
February 12, 2026

目次

ファームウェア、システム、セキュリティの更新	1
ONTAPにおけるファームウェア、システム、およびセキュリティアップデートの概要	1
ビデオ：自動ファームウェア更新機能	1
自動更新インストールのスケジュール設定の仕組み	2
自動更新の有効化	3
自動更新の変更	5
推奨される自動更新の管理	6
ファームウェアの手動更新	7

ファームウェア、システム、セキュリティの更新

ONTAPにおけるファームウェア、システム、およびセキュリティアップデートの概要

ONTAPのバージョンによっては、ファームウェア、システム、セキュリティの自動更新を有効にできます。

ONTAPバージョン	自動更新の対象
9.16.1以降	<ul style="list-style-type: none">• 人工知能を利用した自律型ランサムウェア対策 (ARP / AI)• ONTAP Time Zone Database• ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア• サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア
9.13.1以降	<ul style="list-style-type: none">• ONTAP Time Zone Database• ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア• サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア
9.10.1以降	<ul style="list-style-type: none">• ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア• サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア
9.9.1以前	サポート対象外

お使いのバージョンのONTAPで自動更新が利用できない場合、または自動更新が有効になっていない場合は、ファームウェア、Time Zone Database、およびセキュリティの更新を手動で実行できます。

関連リンク

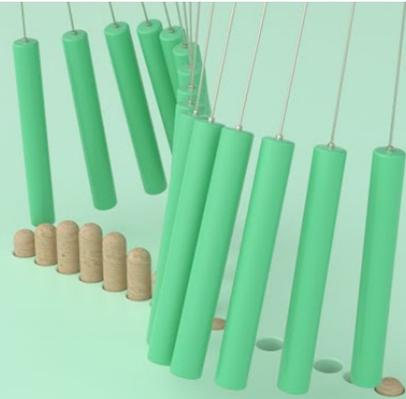
- ["ファームウェアを手動で更新する方法"](#)
- ["ナレッジベースの記事「ONTAP 9でタイムゾーン情報を更新する方法」"](#)
- ["セキュリティを手動で更新する方法"](#)

ビデオ：自動ファームウェア更新機能

ONTAP 9.10.1 以降で利用可能な自動ファームウェア更新機能をご覧ください。

Automatic Firmware Update feature is available starting in ONTAP 9.10.1

By Jim Svesnik,
Quality Assurance Engineer



自動更新インストールのスケジュール設定の仕組み

同じクラスタ内の対象となるすべてのノードが自動更新用にグループ化されます。対象となるノードで自動更新がスケジュールされる期間は、更新の優先度と、更新が必要なシステムが環境内に占める割合によって異なります。

たとえば、システム全体の10%以下が優先度の低い更新の対象である場合、対象となるすべてのシステムに対して1週間以内の更新スケジュールが設定されます。一方で、システム全体の76%以上が優先度の低い更新の対象である場合は、対象となるシステムに対して8週間にわたって段階的に更新が行われます。このように段階的にインストールすることで、更新に修正が必要な問題があった場合の環境全体に対するリスクが軽減されます。

次の表は、更新対象のシステムが全体に占める割合と、それらが週ごとに自動更新される割合をまとめたものです。

重要な更新について

更新が必要なシステムの割合	1週目に更新される割合	2週目に更新される割合
50%以下	100%	
51~100%	30%	70%

優先度の高いアップデートの場合

更新が必要なシステムの割合	週ごとに発生する更新の割合			
	第1週	第2週	3週目	第4週

更新が必要なシステムの割合	週ごとに発生する更新の割合			
25%以下	100%			
26-50%	30%	70%		
50-100%	10%	20%	30%	40%

通常の優先度のアップデートの場合

更新が必要なシステムの割合	週ごとに発生する更新の割合							
	第1週	第2週	3週目	第4週	第5週	第6週	第7週	第8週
10%以下	100%							
11-20%	30%	70%						
21-50%	10%	20%	30%	40%				
51-75%	5%	10%	15%	20%	20%	30%		
76-100%	5%	5%	10%	10%	15%	15%	20%	20%

自動更新の有効化

自動更新を有効にすると、ONTAPはユーザーの介入なしにファームウェア、システム、およびセキュリティの更新をダウンロードしてインストールできるようになります。

自動更新を有効にするには、EULAの条件に同意し、環境に応じて各システムコンポーネントのデフォルトの更新動作を確認または設定する必要があります。

各システムコンポーネントの自動更新の可用性はONTAPバージョンによって異なります。

ONTAPのバージョン	利用可能な自動更新
9.16.1以降	<ul style="list-style-type: none"> 人工知能を利用した自律型ランサムウェア対策 (ARP / AI) ONTAP Time Zone Database ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア ディスク認定パッケージ (DQP)

ONTAPのバージョン	利用可能な自動更新
9.13.1以降	<ul style="list-style-type: none"> • ONTAP Time Zone Database • ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア • サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア • ディスク認定パッケージ (DQP)
9.10.1以降	<ul style="list-style-type: none"> • ストレージ デバイス、ディスク、およびディスク シェルフのストレージ ファームウェア • サービス プロセッサおよびBMCモジュールのSP / BMCファームウェア • ディスク認定パッケージ (DQP)

開始する前に

- 有効なサポート資格が必要です。"[NetAppサポートサイト](#)"の*システム詳細*ページでご確認いただけます。
- 自動更新を有効にするには、まずHTTPSでAutoSupportを有効にする必要があります。クラスタでAutoSupportが有効になっていない場合、または別のトランスポート プロトコルでクラスタのAutoSupportが有効になっている場合は、この手順中にHTTPSで有効にできます。



HTTPS転送プロトコルを使用してテクニカル サポートにメッセージを送信するよう設定している場合は、AutoSupport OnDemandがデフォルトで有効になっており、機能しています。

- ONTAP 9.10.1 以降、自動更新を有効にする場合は、次の追加 URL への HTTPS 接続があることを確認してください：
 - <https://support-sg-naeast.netapp.com>
 - <https://support-sg-nawest.netapp.com>

タスク概要

ONTAP 9.16.1より前に作成され、その後9.16.1以降にアップグレードされたクラスタの場合：

- 自動更新機能がすでに有効になっている場合、アップグレード後もシステム コンポーネント更新のデフォルトは変更されません。
- 自動更新がまだ有効になっていない場合は、ONTAP 9.16.1以降のシステム コンポーネント更新のデフォルトが適用されます。

システムコンポーネントの自動更新のデフォルト設定は、ONTAPバージョンに応じて、自動的に更新するか通知を表示するかのいずれかです。手順を完了する前に、これらの設定が環境に適切であることを確認してください。

この "[ビデオ](#)"では、自動更新プロセスの使用に関する簡単な概要を示します。

例 1. 手順

System Manager - ONTAP 9.16.1以降

1. System Managerで、*Cluster > Settings*を選択します。
2. HTTPS で AutoSupport OnDemand が有効になっていない場合は、 を選択して、続行するために必要な設定を有効にします。
3. ソフトウェア アップデート セクションで、有効化 を選択します。
4. 更新タイプごとに実行する操作を指定します。

更新タイプごとに、自動的に更新するか、通知を表示するか、自動的に更新を却下するかを選択できます。

5. 利用規約に同意して、*保存*を選択します。

System Manager - ONTAP 9.15.1 以前

1. System Managerで、*Events*を選択します。
2. 概要 セクションの 自動更新を有効にする の横にある アクション > 有効にする を選択します。
3. HTTPSを使用したAutoSupportを有効化していない場合は、選択して有効にします。
4. 利用規約に同意して、*保存*を選択します。

CLI

1. 自動ファームウェア更新を有効にする：

```
system service-processor image modify -node <node_name> -autoupdate true
```

関連情報

- ["AutoSupportを使用するための準備"](#)
- ["HTTPS経由のAutoSupportメッセージ配信のトラブルシューティング"](#)

自動更新の変更

自動更新機能が有効で、システムコンポーネントのデフォルト設定が設定されている場合、ONTAPは推奨されるすべての更新を自動的に検出、ダウンロード、インストールできます。推奨される更新がインストールされる前に確認したい場合、または推奨事項を自動的に無視したい場合は、デフォルトの動作を好みに合わせて変更できます。

例 2. 手順

ONTAP 9.16.1以降

1. System Managerで、クラスター > 設定 に移動します。
2. ソフトウェア アップデート セクションで、→を選択します。
3. *その他すべての更新*タブを選択し、*自動更新設定の編集*をクリックします。
4. 更新タイプごとに実行するデフォルトの操作を指定します。

更新タイプごとに、自動的に更新するか、通知を表示するか、自動的に更新を却下するかを選択できます。



ONTAPタイムゾーンデータベースは、*システムファイル*更新タイプによって制御されます。

5. 利用規約に同意して、*保存*を選択します。

ONTAP 9.15.1以前

1. System Managerで、*Cluster > Settings*をクリックします。
2. *自動更新*セクションで⋮をクリックすると、アクションのリストが表示されます。
3. *Edit Automatic Update Settings*をクリックします。
4. 更新タイプごとに実行するデフォルトの操作を指定します。

タイプごとに、自動的に更新するか、通知を表示するか、自動的に更新を却下するかを選択できません。



ONTAP Time Zone Databaseは、SYSTEM FILES更新タイプによって制御されます。

推奨される自動更新の管理

自動更新ログには、推奨される更新のリストとそれぞれの詳細（説明、カテゴリ、スケジュールされたインストール日時、ステータス、エラーなど）が表示されます。このログを確認してから、推奨される更新ごとに実行する操作を判断できます。

手順

1. 推奨される更新のリストを表示します。

クラスタ設定から表示	更新タブから表示
<p>a. *[クラスタ] > [設定]*をクリックします。</p> <p>b. ONTAPのバージョンに応じて、以下のいずれかを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ ONTAP 9.15.1 以前の場合は、*自動更新*セクションでをクリックし、すべての更新を表示するオプションをクリックします。 ◦ ONTAP 9.16.1以降の場合、ソフトウェアアップデート*セクションで、を選択します。*その他のすべてのアップデート*ページの右隅にある*詳細  	<p>a. *[クラスタ] > [概要]*をクリックします。</p> <p>b. *概要*セクションで*詳細*をクリックし、*ONTAP Update*をクリックします。</p> <p>c. ONTAPのバージョンに応じて、次の手順を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◦ ONTAP 9.15.1 以前の場合は、[ファームウェア アップデート]をクリックします。 ◦ ONTAP 9.16.1 以降の場合は、[その他のすべての更新]をクリックします。 <p>d. 更新ページで、詳細 をクリックし、すべての更新を表示するオプションをクリックします。</p>

2. 説明の横にあるをクリックすると、推奨事項に対して実行できるアクションのリストが表示されます。

推奨事項（更新）の状態に応じて、次のいずれかの操作を実行できます。

アップデートがこの状態の場合：	次の操作を実行できます。
スケジュールされていません	<p>Update：更新プロセスを開始します。</p> <p>Schedule：更新プロセスを開始する日付を設定できます。</p> <p>Dismiss：リストから推奨事項を削除します。</p>
スケジュール済み	<p>Update：更新プロセスを開始します。</p> <p>スケジュールの編集：更新プロセスを開始する予定日を変更できません。</p> <p>スケジュールのキャンセル：スケジュールされた日付をキャンセルします。</p>
解雇された	閉じない：推奨事項をリストに戻します。
適用中またはダウンロード中	Cancel ：更新をキャンセルします。

ファームウェアの手動更新

ONTAP 9.9.1以降、"[Active IQ Unified Manager](#)"に登録されている場合、ディスク、ディスクシェルフ、サービスプロセッサ（SP）、ベースボード管理コントローラ（BMC）などのサポート対象デバイスのファームウェア更新がクラスタ上で保留中になったときに通知するアラートをSystem Managerで受信できます。

ONTAP 9.8を実行している場合やActive IQ Unified Managerに登録していない場合は、NetAppサポートサイトにアクセスしてファームウェアの更新をダウンロードします。

開始する前に

ファームウェアのアップデートをスムーズに行うために、アップデート開始前にSPまたはBMCを再起動する必要があります。`system service-processor reboot-sp -node node_name`コマンドを使用して再起動してください。`system service-processor reboot-sp`の詳細については、"[ONTAPコマンド リファレンス](#)"を参照してください。

手順

ONTAPのバージョンと、Active IQ Unified Managerに登録しているかどうかに応じて、該当する手順に従います。

ONTAP 9.16.1以降 (Digital Advisorあり)

手順

1. System Managerで、*ダッシュボード*に移動します。

Health セクションには、クラスターに推奨されるファームウェア更新がある場合、メッセージが表示されます。

2. アラート メッセージをクリックします。
3. 推奨される更新のリストにあるセキュリティ更新の横にある **Actions** を選択します。
4. すぐに更新をインストールするには*Update*をクリックし、後でスケジュールするには*Schedule*をクリックします。

更新がすでにスケジュールされている場合は、*編集*または*キャンセル*できます。

ONTAP 9.9.1から9.15.1 (Digital Advisorあり)

1. System Managerで、*ダッシュボード*に移動します。

Health セクションには、クラスターに推奨されるファームウェア更新がある場合、メッセージが表示されます。

2. アラート メッセージをクリックします。

アップデート ページに ファームウェア アップデート タブが表示されます。

3. 実行したいファームウェアの更新については、**NetApp Support Site** からダウンロードをクリックしてください。

NetAppサポート サイトが表示されます。

4. NetAppサポート サイトにログインし、更新に必要なファームウェア イメージ パッケージをダウンロードします。
5. ネットワーク上のHTTPサーバかFTPサーバ、またはローカル フォルダにファイルをコピーします。
6. System Manager で、**Cluster > Overview** をクリックします。
7. *概要*ペインの右隅で、*詳細*をクリックし、*ONTAP Update*を選択します。
8. *ファームウェアアップデート*をクリックします。
9. ONTAPのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

ONTAP 9.9.1および9.10.0	ONTAP 9.10.1以降
a. *From Server*または*Local Client*を選択します b. サーバのURLまたはファイルの場所を指定します。	a. 推奨される更新プログラムのリストで、 Actions を選択します。 b. すぐに更新をインストールするには*Update*をクリックし、後でスケジュールするには*Schedule*をクリックします。 更新がすでにスケジュールされている場合は、*編集*または*キャンセル*できます。 c. *Update Firmware*ボタンを選択します。

ONTAP 9.8以降 (Digital Advisorなし)

1. "NetAppサポート サイト"に移動してログインします。
2. クラスタ ファームウェアの更新に使用するファームウェア パッケージを選択します。
3. ネットワーク上のHTTPサーバかFTPサーバ、またはローカル フォルダにファイルをコピーします。
4. System Manager で、**Cluster > Overview** をクリックします。
5. 概要*ペインの右隅で、*詳細*をクリックし、*ONTAP Update*または*Software updates (バージョンによって異なります) を選択します。
6. ONTAPのバージョンに応じて、次の手順を実行します。
 - ONTAP 9.15.1 以前の場合は、[ファームウェア アップデート] をクリックします。
 - ONTAP 9.16.1 以降の場合は、[その他のすべての更新] をクリックします。
7. ONTAPのバージョンに応じて、次の手順を実行します。

ONTAP 9.8、9.9.1、9.10.0	ONTAP 9.10.1以降
1. *From Server*または*Local Client*を選択します 2. サーバのURLまたはファイルの場所を指定します。	1. 推奨される更新プログラムのリストで、 Actions を選択します。 2. すぐに更新をインストールするには*Update*をクリックし、後でスケジュールするには*Schedule*をクリックします。 更新がすでにスケジュールされている場合は、*編集*または*キャンセル*できます。 3. *Update Firmware*ボタンを選択します。

終了後の操作

Firmware Update Summary でアップデートを監視または確認できます。却下されたアップデートやインストールに失敗したアップデートを表示するには、ONTAP のバージョンに応じて次のいずれかを実行します：

- ONTAP 9.15.1以前の場合は、*クラスタ>設定>自動更新>すべての自動更新を表示*をクリックします。

- ONTAP 9.16.1以降の場合は、クラスター > 設定 > ソフトウェアアップデート*をクリックします。*その他のすべてのアップデート*ペインの右隅にある*詳細  をクリックし、*すべての自動アップデートを表示*を選択します。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。